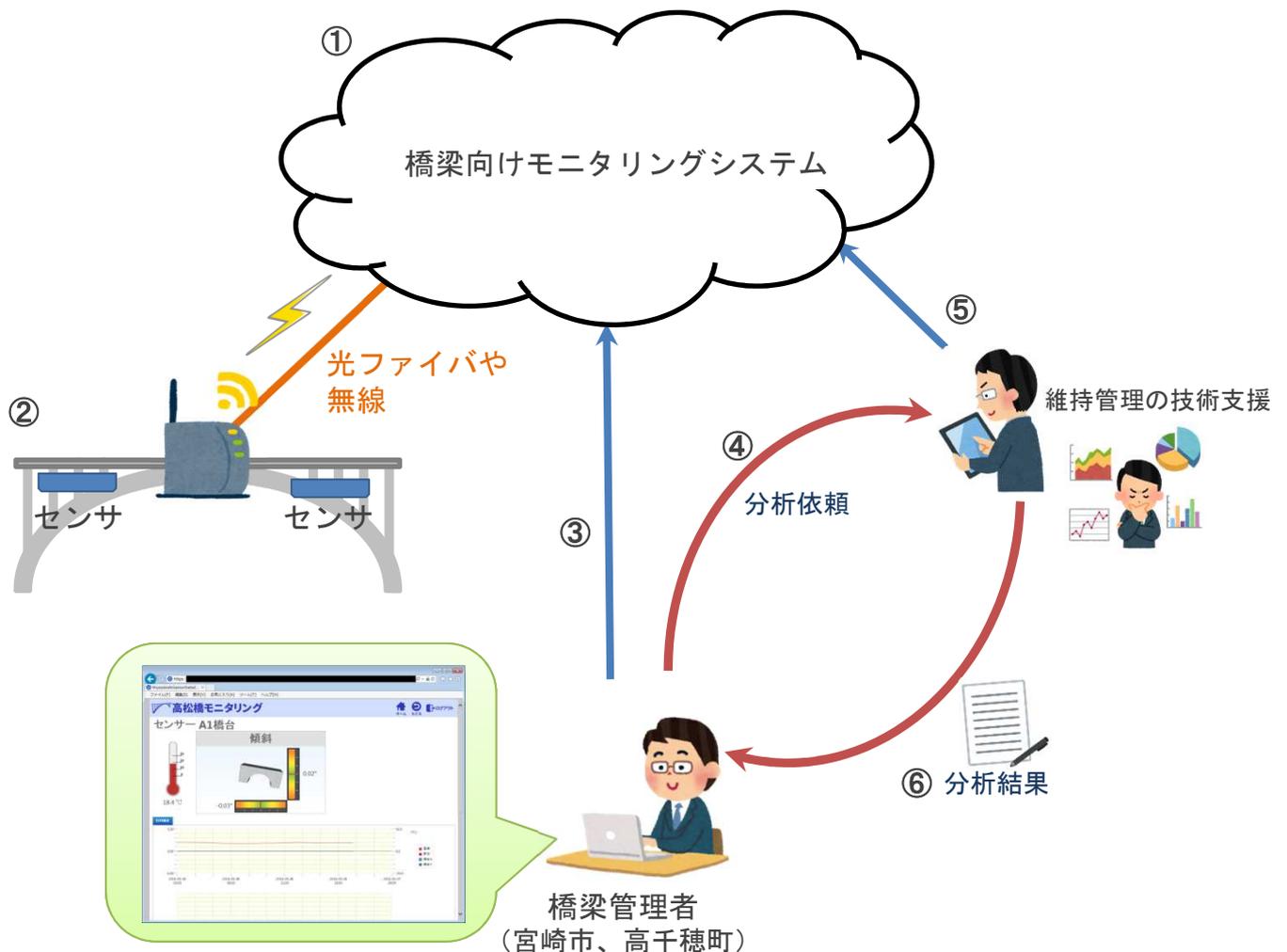


インフラモニタリングのフィールドテスト概要

1. 期間
2016年4月～2017年3月（予定）
2. 実施場所
(1) 高松橋 [宮崎市]
(2) 下田原大橋 [高千穂町]
※詳細は次ページ
3. モニタリング項目
・ひび割れ、傾き、温度、たわみ、変位、ひずみ、震度
4. インフラモニタリングの実施イメージ



- ① モニタリングシステムにより、いつでもどこでもデータの閲覧が可能
- ② 構造上の特徴や現況に合わせたセンサーの選定・配置により、効率的にデータを収集
- ③ 橋梁管理者は、いつでも橋の状態をリアルタイムに把握
- ④ 収集されたデータの分析は建設コンサルタント会社へ依頼
- ⑤ 得られたデータから橋梁の状態を分析
- ⑥ 橋梁管理者は分析結果をもとに経過観察や補修工事を判断

(参考)
各橋梁の概要

(1) 高松橋



管理者	宮崎市
所在地	宮崎県宮崎市鶴島3丁目
橋長	444m
完成年	昭和57年(1982年)
測定目的	<ul style="list-style-type: none">• 劣化診断• 被災評価 (突発災害時)
測定項目	<ul style="list-style-type: none">• 傾き• 温度• 変位• 震度

(2) 下田原大橋



管理者	高千穂町
所在地	宮崎県西臼杵郡 高千穂町大字田原
橋長	205m
完成年	平成13年(2001年)
測定目的	<ul style="list-style-type: none">• 劣化診断
測定項目	<ul style="list-style-type: none">• 温度• ひび割れ